労働者諸君
立って資本家義合理化を粉砕せよ
一九三〇、九、一六
大島製鋼学識団児童保護者団

（二）

（別記三）

檄

今まで吾々は官太と大川を向に廻して四十三日間全学識団はカカアや子供まで動員して血の出る様な戦をやって来た。そして今や一層の馬もで斗か抜かなければならぬ情勢になって来た。
吾々最后の大衆的動員を敢行すべき準備として暴露、宣伝、煽動を大衆的に開始しようとして居るのだ此の時又一つ吾々の前に敵が現はれて来たそれは今迄大島町民の親父様の顔をして居た町長だ、彼は吾々の演説会々場として申込んだ学校の使用を拒絶して来たのだ

諸君！

一、休学校は唯の金で造ったのだ官憲や町長や大川の造ったものでは断じてない皆吾々[illegible]血液で造ったのだたゞ町長に其の没理を頼んで置いたゞけだ我々が馬鹿騒ぎ[illegible]お湯沙として借りるなら兎も角く生きるか死ぬかの問題で使かたつと云ふに[illegible]で所ったのだ[illegible]家の方から〻」「労農党系だから」借せないと云ふのだ彼も又[illegible]とクルに[illegible]平先をやって居るのだ。
吾々は自分で造った[illegible]家や官太の手先に勝手にされて引込んで居られるか[illegible]の平先となる[illegible]いなめる様な教育をする学校へ子供をやって置けるか[illegible]一つ[illegible]と児童盟体を以って[illegible]家の平先町長の手から
一、[illegible]しろ！
一、[illegible]しろ！
一、[illegible]家地主の[illegible]から即時児童を引上げろ
一九三〇、九、一六、

城東電車貨物値下期成同盟有志